



会報 No.150 令和5年1月号



新年挨拶

一般社団法人八王子市私立保育協会 会長 石井 淳

新年明けましておめでとうございます。会員園の皆さまにとって良い年となりますことを心より祈念申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

昨年も新型コロナウイルス感染症は、1月の第6波、8月の第7波と感染が拡大し、一向に収束する気配はありません。3年を経てコロナへの対応が日常化されてきましたが、年末には再び感染が拡大し、さらには同時にインフルエンザも流行して、多くの園で対応に追われたことと思います。コロナとインフルエンザの同時流行期における医療機関の逼迫を考慮して、国からは治癒証明（意見書）を求めないようとの通知がありました。協会としましても、今後インフルエンザの意見書についてのあり方を医師会と協議していく必要があります。

ロシアのウクライナ侵攻に端を発した国際的な資源価格の高騰、さらには異例なほどの円安により、光熱費と食料品は一気に値上がりしました。昨年は、給食食材の業者さんから幾度となく値上がりのお知らせをもらう、という今までにない経験をしました。運営への影響が心配される中、八王子市から給食費と光熱費に関して、物価高騰対策の補助を頂けたことは大変ありがたく感謝しております。今後は、国の公定価格の改訂という形で恒久的な財源の裏付けが期待されます。

昨年来、送迎バスでの置き去り死亡事故、不適切な保育と保育施設に関する良くないニュースがマスコミを賑わせました。バスの事故防止については国から明確な指針が出されましたが、不適切な保育については、対応が簡単ではないと思われます。いつの時代にも躰と不適切な保育の境界線は、保育の現場を悩ませてきました。時代によっても異なるでしょうし、それぞれの家庭、保護者によっても異なるものです。裾野市の保育園での事案が、マスコミに取り上げられたことから、世間の耳目を集め、いま保育施設は厳しい目にさらされています。これまで保育者の常識と良識に頼ってきてしまった部分が大いにあることは否定できません。今後は保育園で指導についての基準を作ったり、職員同士互いに指摘し合える環境作りなど様々な対応が求められ、そのことが職員を守ることに繋がると考えています。

昨年の八王子市における出生数は、ついに3千人を切ったそうです。減少傾向は続いていましたが、これまでにない数字で、八王子市も相当危機感を持っているようです。当然保育施設への入園児数も減り、今後、各園において一層深刻な欠員が想定されます。このような状況の中、欠員問題への対応、認定こども園への移行、指定管理園の公私連携化、公立保育園の今後のあり方など、八王子市も保育に関する難しい問題を抱えています。協会としましても、八王子市の子どもたちのために八王子市の行政および議会と手を携えて、問題の解決に寄与してまいりたいと思います。本年も八王子市私立保育協会の活動にご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和4年度 はちおうじ保育園フェア2022

雇用対策部長 榊原直哉

令和4年9月11（日）に、学園都市センターにて「はちおうじ保育園フェア2022」を開催いたしました。2020年、2021年は新型コロナウイルス感染拡大により中止しましたので3年ぶりの開催となりました。2015年に第一回を開催して以来、八王子市私立保育協会主催として6回目の開催となります。

今年度から、はちおうじ保育園フェアの運営が青年部から雇用対策部へ移行しました。青年部の皆様には会場設営や受付等の様々なご協力をしていただき、とても助かりました。この場を借りて御礼申し上げます。

また、前回に引き続き、今年度も東京都民間保育園協会主催の東京保育フォト展in八王子を合同開催いたしました。今回は過去に八王子市内の保育園から応募していただいた作品の展示を行いました。来場者のみならず、在園児の保護者の方にも来場していただき、保育の良さを視覚的にアピールできたと思います。

今回は新型コロナウイルス感染防止対策の為、参加法人数を例年の20法人から14法人に変更し、全体として14法人42園の出展となりました。また、八王子市役所子ども家庭部の方にも出展していただきました。

はちおうじ保育園フェア当日は、出展法人の皆様は11時から各ブースにて準備を開始しました。また12時45分には、本フェア開催にあたり八王子市私立保育協会会長、石井先生より御挨拶をいただきました。13時より開場し、来場者は各保育園のブースを複数巡り、園長先生や保育士から、それぞれの保育園の様々な特色の説明を受けながら、就職や実習にあたっての多くのアドバイス等を聞いていました。各法人の説明もスライドや冊子などで園の様子を紹介する等、将来仲間になるかもしれない来場者にとってわかりやすいものとなっており、終了時間の16時までブースで説明を受ける姿が見られました。最後

に秦副会長より挨拶があり、盛況のうちに終了することができました。

令和4年度の来場者は36名（就職31名、実習5名）で、前回開催の時と比べると、就職希望者は増加し、実習希望者は減少しましたが、総来場者数は同じという結果になりました。

今回も学生だけではなく、潜在保育士の方や、保育士資格がなくても保育園で働きたいという方の参加も多く、30～60代の方の来場も見られました。

近隣の自治体の園長会等が開催している就職フェア等の状況を聞くと、年々参加者が減少傾向にあり、開催をしても来場者が10数名程度の自治体もあるという情報もあります。減少傾向にある原因の一つとして、各団体や自治体主催の就職フェアが増えたことによる来場者の分散等が考えられます。そういった状況の中で、皆様のご協力のもと、前回と同数の来場者を保つことができたことは、とても喜ばしく思います。今年度から、クリエイトの新聞の折り込みチラシ、Webでの掲載、広報はちおうじ、ハローワークにてチラシの配布、当協会のホームページ等にて、幅広く情報を掲載したことも効果的だったと思います。掲載当日から事務局に数件の問合せがあり、協会ホームページのアクセスも増えました。

来場者の集計は以下の通りです。



はちおうじ保育園フェア2022来場者データ

1. 就職希望者：31名

①保育士（取得予定含む）

- (1) 年齢：10代 8名 20代 11名 30代 2名
40代 4名 50代 3名 60代 1名
無記名 2名
- (2) 学校名：東京純心大学、白梅学園大学、武蔵野大学、目白大学、横浜創英大学、和泉短期大学、アルファ医療福祉専門学校、八王子保育専門学校、東京保育医療秘書専門学校（10校 16名）
- (3) 資格有無：有 10名
無 1名（学生を除く）
- (4) 居住地：東京都 八王子市 23名
町田市 2名
あきる野市 1名
神奈川県 相模原市 1名
山梨県 大月市 2名

②栄養士：2名（取得予定含む）

- (1) 年齢：10代 1名 40代 1名
- (2) 学校：大竹栄養専門学校、武蔵野栄養専門学校（2校）
- (3) 居住地：東京都 日野市 1名
山梨県 上野原市 1名

2. 実習希望者：5名

- (1) 年齢：10代 2名 20代 1名 30代 1名
40代 1名
- (2) 養成校：八王子保育専門学校、日本児童教育専門学校（2校 2名）
- (3) 居住地：東京都 八王子市 4名
埼玉県 飯能市 1名

出展法人、来場者からアンケートを提出していただきました。

以下、アンケートの集計結果です。



出展法人へのアンケート集計

① 開催時期についてご意見をお聞かせ下さい。

- ・良いと思います。園としても動きやすい時期でした。
- ・意欲がある方が多かったので、良い時期だったと思いました。
- ・良いと思います（実習中の学生が多いので、9月末はどうでしょうか）
- ・実習中の方が多くいたので、もう少し遅くても良いと思う。
- ・土曜日の方が見に来やすいのでは
- ・もう少し早くても良いかとも思います
- ・コロナによる実習の遅れ等も含め、もう少し早くても良いかとも思います。

② 開催時間についてご意見をお聞かせ下さい。

- ・準備の時間もたっぷりあり、来場される方も来場しやすい時間だったと思います。
- ・良いと思います。
- ・園側も来場者にとっても来やすい時間帯であった。
- ・午前中（日曜なら）が見に来やすいかと思う。
- ・意外とあっという間におわってしまうので、もう少し長くてもよいかと思いました。（はじまりを少しはやめるとか）
- ・午前中も開催してほしい。

- ③ 会場についてご意見をお聞かせ下さい。
- ・交通の便もよく広くいいと思います。
 - ・駅近で良いと思う。
 - ・駅前なので来場しやすく良いと思います。
 - ・駅から近いのでとても良いと思います。
 - ・コロナ過を考慮しスペースも密にならずに良かったと思います。利用者側も便利だと思います。
 - ・感染対策もしっかりされていて、スペースも充分にあったのでよかったです。
- ④ ブースの大きさ、配置等についてご意見をお聞かせ下さい。
- ・丁度良いと思います。
 - ・ブースの大きさも充分あり配置も問題ありませんでした。
 - ・パーティションを挟んでのやりとりの中、お互いの声が少し聞こえづらかったです。
 - ・問題ないかと思います。コロナ過なのでこれくらいは良いと思います。
 - ・十分な大きさがあり設営しやすかった。
- ⑤ フェア全体に対し、ご意見等がございましたらお聞かせ下さい。
- ・一般の企業フェアですと就職祝い金や引越し手当とか、テーマパークのチケットつきとか、かなりロコツな金銭面のPRが前面にでてくるところも多いので、会のコンセプトはとても良いと思います。



- ・就職希望者記録用紙についてですが、複写式にして参加者に書いていただき説明を聞いたブースに置いていってもらってはいかがでしょうか（聞き間違いや記入ミスを防ぐ為）

来場者アンケート集計 回答29件

- ① はちおうじ保育園フェアをどこで知りましたか？
- ・学校からの紹介 10名
 - ・知り合いからの紹介 9名
 - ・八王子市役所の掲示等 4名
 - ・その他（広報はちおうじ1名、インターネット1名、求人広告3名、園長先生の紹介1名）
- ② 就職先として、現在考えている職種をお聞かせください。（複数回答可）
- ・私立保育園 27名
 - ・公立保育園 10名
 - ・幼稚園 8名
 - ・株式会社の保育園、幼稚園 1名
 - ・認定こども園 6名
 - ・その他（施設 1名）
- ③ 就職・実習先として保育園を選ぶ際に最も重視するものは何ですか？（複数回答可）
- ・保育理念 17名
 - ・労務体制 15名
 - ・福利厚生 8名
 - ・給与 14名
 - ・交通の便 16名
 - ・職員の雰囲気 22名
 - ・その他（ ）
- ④ はちおうじ保育園フェアに参加してみて気になる保育園はみつかりましたか？
- ・はい 27名
 - ・いいえ 2名

⑤ 八王子市の保育園について良く理解できたと感じましたか？

- ・はい 25名
- ・いいえ 4名

⑥ フェア全体に対して、ご意見、ご感想がございましたらご自由にお書き下さい

- ・1つ1つのところをじっくり見ることが出来て自分がどの園に就職したいのか等イメージがわかりました。
- ・ゆっくり話を聞くことが出来てよかった。またこのような機会があったら行きたい。
- ・どの法人様もすごく丁寧に話をしてくださって楽しくブースをまわることができました。
- ・求人票を頂けるとよりよかったです。
- ・気になっていた保育園のお話を直接聞くことが出来て実習先を選ぶ勉強になりました。

来年度開催に向けて

来年度のはちおうじ保育園フェアについては、他団体や行政主催の就職フェアの日程、会場手配の都合等で同時期の9月10日（日）に開催予定です。

今回の来場者の中で、高校時代の職場体験、インターンシップ、ボランティアを当園で受け入れた学生が保育養成校に進学し、来年保育園に就職希望とのことで友達数名と来場し、私に声をかけてくれました。中高生の職場体験、インターンシップ、ボランティア等をきっかけに保育を体験し、保育士を目指してこのイベントに参加してくれたことを嬉しく思います。

『実習の段階から保育士を育てること』という八王子市私立保育協会と本フェアの趣旨に基づき、数年前から養成校の実習後の報告会に参加させていただく機会を頂いています。その際に、学生が自分の保育観に合っていない保育園に実習に行ってしまったことや、その園の雰囲気や人間関係で保育士への道を諦めてしまうという話を耳にしました。その状況を改善し、学生の保育園実習の充実を図るために



も、まず実習先を選ぶ段階からその保育園のことを良く知ってもらい、理解したうえで実習・就職に臨んでもらうことで学生と保育園とのミスマッチを防ぎたいと考えております。

その為にも、本フェアが八王子市の多くの保育園の特色を知ることができ、実習や就職先の情報収集の大切な機会となれるように、これからも進めていかなければならないと感じます。また、単なる就職相談会としての開催ではないという、他団体、他自治体の就職フェアとの違いを周知していきたいと思えます。

フェアの内容や、周知方法の見直しなど課題もあります。いただいたアンケートの内容を含めて検討し、改善を進めてまいります。また、一人でも多くの学生の方に周知するために、各養成校への案内方法や、一般の方に向けた新聞広告や広報はちおうじ等での周知の方法をさらに工夫していこうと思えます。会員園の皆様にも、実習生や巡回に来た養成校の教員の方に、はちおうじ保育園フェアの案内のご協力を是非ともお願いいたします。参加者を増加させ、盛大なフェアにしていきたいと思えます。

出展していただいた法人の皆様、当日の準備、撤収においてお手伝いをいただいた皆様、また各方面でご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

シリーズ 私の保育園

社会福祉法人寿仁会 まつの木保育園

園長 倭 奈都子

まつの木保育園は平成15年4月に京王相模原線京王堀之内駅徒歩15分の場所に開園いたしました。豊かな緑に囲まれ、四季折々の草花を身近に感じ触れていく中で、のびのびとした保育を行っています。

また、幼児クラスでは、毎週水曜日には指導員による体操指導を行っています。運動面の発達だけではなく、自分で考えたり全力で取り組もうとする気持ち、また、集中力など子どもの成長に必要な要素を養っています。毎年運動会では年長児による組み立て体操を行い、保護者の方からも感動の声を頂いています。6月頃よりコツコツと練習を重ね、時には悔し涙も流しながら迎える本番は子ども達の大きな自身にもつながっています。練習を重ねる年長児を見て異年齢児の憧れも高まります。クラス別の保育を行う中ではありますが、異年齢との関りも大切にし、大きな家族のように過ごしていきたいと考えています。

入園した保護者の方には、まつの木保育園として大切にしていることとして「今しかできない体当たり



な成長を大事にしたい」を伝えさせていただいています。この世に誕生し、大人からたくさんの愛情をもらい、スクスクと育つ大切な時期と一緒に関わる大きな責任を保育士は担っています。集団の中で、たくさん笑ったり、泣いたり、怒ったりしていく中で、お友達の気持ちに気づいたり、困った時に助けを求められたり…、と集団の中で決して「いい子」でいる必要はなく、友達を大切に思う気持ちや、自分の気持ちを伝えられる逞しさ等「生きる力」を保護者の方と一緒に育んでいける保育を目指しています。大切なことは目に見えないからこそ、日々奮闘し、子どもからもたくさんの力をもらい過ごしています。

コロナ禍で今までに経験のない保育を求められる中、バス置き去り事故や、保育士が逮捕されるという衝撃的なニュースが駆け巡りました。同業者として様々な感情があふれ出たのは皆様同じではないかと思えます。子どもに関わる責任を保育士一人一人がしっかりと持ち、これからも目に見えない大切なことを大事にしていく保育を目指していきます。



編集後記

賑やかな町の様子や人の動きに、少しずつ世の中がほどこけていきそうな雰囲気を感じられる年明けになりました。お正月の箱根駅では3年ぶりに応援が復活。選手のタスキだけでなく、周囲の人たちの心もつながっている様子が伝わってきました。協会としても嬉しいことがありました。現在、当協会顧問をしてくださっている、なみのり保育園・石井先生が令和4年春の叙勲で瑞宝双光章を受章、さつき保育園園長・斎藤和巳先生が、秋の叙勲で瑞宝双光章を受章されたのです（石井先生・斎藤先生、本当におめでとうございます）。先生方の長年にわたる児童福祉への功労が認められての受章ですが、沢山の先生方も表彰受賞されている私たち会員園にとっても大変誇らしく嬉しいことです。園生活・園運営では、相変わらず油断のできない日々が続きそうですが、こうした喜びを力にして、いろいろな（閉じ込めたり失ったりしてきた）保育活動をよみがえらせ、取り戻す1年にしたいですね。協会のさまざまな活動が、新しいつながりや喜びにつながりますように…。本年もよろしくお願いいたします。（筒井）